

## LM・ブラジル高配当株ファンド (毎月分配型)

### 運用報告書 (全体版)

第43期	決算日	2014年8月25日
第44期	決算日	2014年9月24日
第45期	決算日	2014年10月23日
第46期	決算日	2014年11月25日
第47期	決算日	2014年12月24日
第48期	決算日	2015年1月23日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	平成23年1月24日～平成33年1月25日まで	
運用方針	主にブラジルの証券取引所に上場している株式に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル高配当株マザーファンド	ブラジルの証券取引所に上場している株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への実質投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

当報告書に関するお問い合わせ先：

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

### － 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「LM・ブラジル高配当株ファンド（毎月分配型）」は、2015年1月23日に第48期の決算を行いましたので、第43期、第44期、第45期、第46期、第47期、第48期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			株式組入比率	株式先物比率	純資産額
		税分	込配	み金 期騰落率			
	円		円	%	%	百万円	
19期(2012年8月23日)	8,452		80	5.5	97.0	—	13,776
20期(2012年9月24日)	7,623		80	△8.9	93.7	—	13,521
21期(2012年10月23日)	7,401		80	△1.9	96.4	—	13,645
22期(2012年11月26日)	7,504		80	2.5	95.8	—	14,854
23期(2012年12月25日)	8,022		80	8.0	89.2	—	18,013
24期(2013年1月23日)	8,569		80	7.8	97.0	—	18,549
25期(2013年2月25日)	9,231		80	8.7	96.8	—	18,653
26期(2013年3月25日)	9,061		80	△1.0	94.4	—	16,464
27期(2013年4月23日)	9,586		80	6.7	94.7	—	15,056
28期(2013年5月23日)	9,909		80	4.2	91.5	—	14,335
29期(2013年6月24日)	7,492		80	△23.6	96.2	—	10,470
30期(2013年7月23日)	7,858		80	6.0	96.7	—	11,688
31期(2013年8月23日)	6,898		80	△11.2	96.8	—	10,911
32期(2013年9月24日)	7,859		80	15.1	96.8	—	12,801
33期(2013年10月23日)	8,022		80	3.1	96.1	—	13,036
34期(2013年11月25日)	7,438		80	△6.3	94.0	—	11,929
35期(2013年12月24日)	7,072		80	△3.8	96.2	—	11,061
36期(2014年1月23日)	6,827		80	△2.3	96.7	—	10,622
37期(2014年2月24日)	6,341		80	△5.9	97.2	—	10,306
38期(2014年3月24日)	6,471		80	3.3	96.8	—	10,801
39期(2014年4月23日)	7,035		80	10.0	95.3	—	10,855
40期(2014年5月23日)	7,025		80	1.0	95.5	—	10,499
41期(2014年6月23日)	7,087		80	2.0	95.7	—	9,858
42期(2014年7月23日)	7,305		80	4.2	97.2	—	9,315
43期(2014年8月25日)	7,219		80	△0.1	97.0	—	8,763
44期(2014年9月24日)	6,682		80	△6.3	93.7	—	7,396
45期(2014年10月23日)	6,096		80	△7.6	97.1	—	6,801
46期(2014年11月25日)	6,766		80	12.3	94.2	—	7,539
47期(2014年12月24日)	6,093		80	△8.8	94.6	—	6,767
48期(2015年1月23日)	6,189		80	2.9	95.2	—	6,996

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 市場に広く認知されているベンチマークで、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマークと比較していません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第43期	(期 首) 2014年7月23日	円	%	—	%	%
	7月末	7,305	—	—	97.2	—
	(期 末) 2014年8月25日	7,197	△ 1.5	—	97.0	—
第44期	(期 首) 2014年8月25日	7,299	△ 0.1	—	97.0	—
	8月末	7,219	—	—	97.0	—
	(期 末) 2014年9月24日	7,396	2.5	—	96.7	—
第45期	(期 首) 2014年9月24日	6,762	△ 6.3	—	93.7	—
	9月末	6,682	—	—	93.7	—
	(期 末) 2014年10月23日	6,541	△ 2.1	—	93.0	—
第46期	(期 首) 2014年10月23日	6,176	△ 7.6	—	97.1	—
	10月末	6,096	—	—	97.1	—
	(期 末) 2014年11月25日	6,452	5.8	—	93.5	—
第47期	(期 首) 2014年11月25日	6,846	12.3	—	94.2	—
	11月末	6,766	—	—	94.2	—
	(期 末) 2014年12月24日	6,826	0.9	—	94.3	—
第48期	(期 首) 2014年12月24日	6,173	△ 8.8	—	94.6	—
	12月末	6,093	—	—	94.6	—
	(期 末) 2015年1月23日	6,121	0.5	—	95.5	—
		6,269	2.9	—	95.2	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

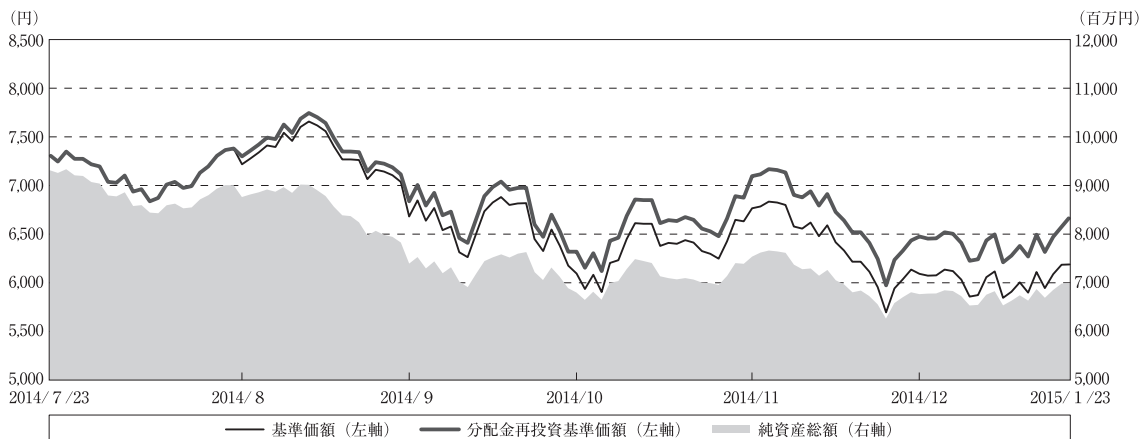
(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

(2014年7月24日～2015年1月23日)



第43期首：7,305円

第48期末：6,189円 (既払分配金 (税込み) : 480円)

騰落率：△8.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2014年7月23日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期末 (2015年1月23日) のLM・ブラジル高配当株ファンド (毎月分配型) (以下、当ファンド) の基準価額は6,189円 (分配金控除後) となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス (騰落率) はマイナス8.81% (分配金再投資ベース)、基準価額は636円 (分配金込み) 下落しました。当ファンドの運用においては、高水準の配当利回りが期待できるブラジル株式への投資を行いました。当作成期の基準価額変動は、主に株式相場の下落に伴い株式要因がマイナスとなったことから、マイナスとなりました。一方、為替要因については小幅プラスとなりました。株式要因の内訳については、スマイルズ、テレフォニカ・ブラジル、CETIP等の銘柄がプラスに寄与しました。一方、ヴァーレ、ミナスジェライス電力、AESティエテ等がマイナスの影響となりました。

当作成期のブラジル株式市場は下落しました。

期の前半は、2014年10月に行われた大統領選において、より経済を重視する政権への交代期待が高まり、株式市場は上昇しました。しかし、その後、イラクやウクライナ情勢の緊迫化や国内経済の低迷などが重石となり、軟調となりました。

期の半ばは、大統領選の行方が不透明となったことや、足元の国内景気の低迷が意識されたことなどから、株価は下落しました。大統領選ではルセフ大統領が再選されたものの、新政権がより市場に配慮した政策を取り入れるとの期待感から、株価は反発しました。

期の後半は、主要国の株式相場が下落したことなどを受け、ブラジルの株式市場も下落に転じました。その後は、次期財務相に市場の信頼の厚いレビィ氏が指名されたことを好感し、株価は一時上昇しました。しかし、原油や鉄鉱石などの資源価格の下落が進みリスク回避の動きが強まったことや、ブラジル経済の先行き不透明感などから、株価は上値の重い展開となりました。

為替市場では、ブラジルレアルは対円でほぼ横ばいとなりました。

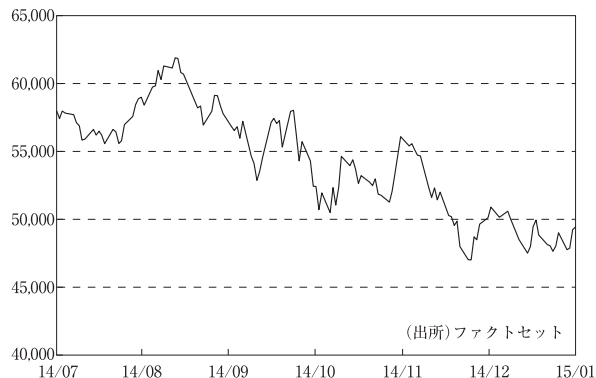
期の前半は、ウクライナや中東を巡る緊張の高まりを受け、レアル売り・円買い優勢で始まりました。しかし、その後、ブラジル中央銀行がレアル買い介入の強化を発表したことや、大統領選における政権交代観測が浮上し、より経済重視の政権への期待が高まったことから、レアル買い・円売りが優勢となりました。

期の半ばは、大統領選の行方に対する不透明感が高まったことなどから、レアル売り・円買いが優勢となりました。また、地政学リスクの高まりを受け投資家のリスク回避姿勢が強まり、レアル売り・円買いが進みました。

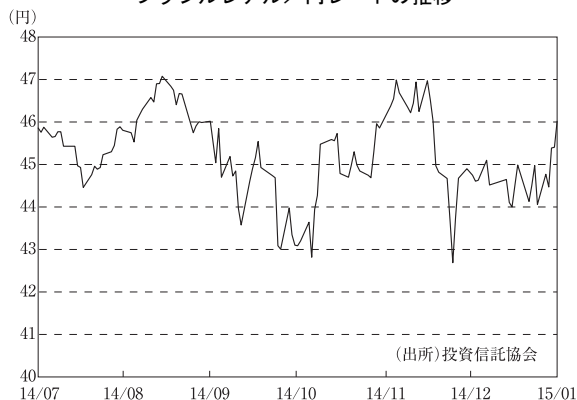
しかし、ブラジル中央銀行による予想外の利上げや、日銀による予想外の追加金融緩和を受け、レアル買い・円売り優勢へと転じました。

期の後半は、新政権の経済閣僚人事が好感されたことや、円が主要通貨に対し弱含んだことなどから、レアル買い・円売りが優勢となりました。しかし、その後、原油や鉄鉱石等の資源価格の下落を背景にリスク回避の動きが強まったことから、レアル売り圧力が強まりました。当期末にかけては、ブラジル中央銀行による追加利上げ等を受け、レアル買いが優勢となりました。

ブラジルボベスパ指数



ブラジルレアル/円レートの推移



当ファンドは「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルの証券取引所に上場している株式に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めます。また、組入れ外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期においては、高水準の配当利回りが期待できるブラジル株式への投資を行いました。

分配金

(2014年7月24日～2015年1月23日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
	2014年7月24日～ 2014年8月25日	2014年8月26日～ 2014年9月24日	2014年9月25日～ 2014年10月23日	2014年10月24日～ 2014年11月25日	2014年11月26日～ 2014年12月24日	2014年12月25日～ 2015年1月23日
当期分配金 (対基準価額比率)	80 1.096%	80 1.183%	80 1.295%	80 1.169%	80 1.296%	80 1.276%
当期の収益	34	4	30	19	53	14
当期の収益以外	45	75	49	60	26	65
翌期繰越分配対象額	1,962	1,887	1,838	1,778	1,754	1,689

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。  
 (注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

---

ブラジル経済については、2014年7－9月期GDP（国内総生産）成長率が前期比+0.1%となるなど、足元の経済成長ペースは鈍いものとなっています。ルセフ新政権は、インフレ抑制や財政再建を優先する姿勢を示しており、当面の国内景気の成長ペースは鈍いものと予想されます。しかし、一方では、金融・財政政策の協調性が増していることから、ルセフ政権への投資家の信認が回復する要因となると期待されます。

金融政策については、ブラジル中央銀行はインフレを抑制するため、2014年10月に利上げを再開し、12月、2015年1月の政策決定会合でも追加利上げを決定しました。今後については、インフレ抑制姿勢は変わらないものの、過去の利上げの影響などを考慮しながら、慎重に利上げ判断を行うものと思われれます。

為替市場については、ブラジル中央銀行がインフレ抑制を重視した政策を継続すると予想されることや、為替介入を継続する姿勢を示していることなどから、レアルは底堅く推移するものと予想されます。また、日本では日銀の積極的な金融緩和が継続されると見込まれ、レアルを対円で下支えする要因と考えられます。

株式市場については、原油等資源価格の下落や、引き締め型の金融・財政政策の影響などから、当面は上値の重い展開となる可能性があります。しかし、株価は株式相場にとっての悪材料を概ね織り込んだ水準にあると思われ、ルセフ政権への投資家の信認が回復するとともに、株式市場も次第に底堅く推移するものと予想されます。

# ○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年7月24日～2015年1月23日)

項 目	第43期～第48期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 65	% 0.964	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(31)	(0.467)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(31)	(0.459)	交付運用報告書各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 3 )	(0.038)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	8	0.120	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 8 )	(0.120)	
(c) そ の 他 費 用	7	0.105	(c) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 6 )	(0.093)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 等 費 用 ）	( 0 )	(0.007)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法廷書類の作成、印刷、交付および届出 に係る費用
合 計	80	1.189	
作成期間の平均基準価額は、6,755円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注5) 保管費用には非居住者のブラジル国内株式投資に係る金融取引税が含まれます。



## ○売買及び取引の状況

(2014年7月24日～2015年1月23日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第43期～第48期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
LM・ブラジル高配当株マザーファンド	千口 1,295,126	千円 1,372,574	千口 2,797,218	千円 3,098,267

(注) 単位未満は切捨て。

## ○株式売買比率

(2014年7月24日～2015年1月23日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	第43期～第48期	
	LM・ブラジル高配当株マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	24,173,544千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	19,971,069千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.21	

(注1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2014年7月24日～2015年1月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2014年7月24日～2015年1月23日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2014年7月24日～2015年1月23日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2015年1月23日現在)

### 親投資信託残高

銘 柄	第42期末		第48期末	
	口 数	千口	口 数	千口
LM・ブラジル高配当株マザーファンド	8,210,904		6,708,812	7,097,924

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照下さい。

## ○投資信託財産の構成

(2015年1月23日現在)

項 目	第48期末	
	評 価 額	比 率
LM・ブラジル高配当株マザーファンド	7,097,924	99.9%
ユーロ・ローン等、その他	7,553	0.1
投資信託財産総額	7,105,477	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) LM・ブラジル高配当株マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(23,034,166千円)の投資信託財産総額(23,667,342千円)に対する比率は97.3%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、1月23日における邦貨換算レートは1ブラジルレアル=46.02円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末	第48期末
	2014年8月25日現在	2014年9月24日現在	2014年10月23日現在	2014年11月25日現在	2014年12月24日現在	2015年1月23日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	8,943,557,230	7,593,202,899	6,913,488,078	7,645,121,097	6,891,184,866	7,105,477,331
LM・ブラジル高配当株マザーファンド(評価額)	8,875,776,936	7,498,150,527	6,901,560,286	7,640,864,840	6,867,551,587	7,097,924,120
未収入金	67,780,294	95,052,372	11,927,792	4,256,257	23,633,279	7,553,211
(B) 負債	180,365,011	197,130,451	112,389,267	105,843,217	123,395,236	108,788,754
未払収益分配金	97,111,922	88,554,938	89,252,860	89,144,506	88,866,309	90,445,312
未払解約金	67,780,294	95,052,372	11,927,792	4,256,257	23,633,279	7,553,211
未払信託報酬	15,289,552	13,361,797	11,067,035	12,283,403	10,748,836	10,622,589
その他未払費用	183,243	161,344	141,580	159,051	146,812	167,642
(C) 純資産総額(A-B)	8,763,192,219	7,396,072,448	6,801,098,811	7,539,277,880	6,767,789,630	6,996,688,577
元本	12,138,990,333	11,069,367,306	11,156,607,623	11,143,063,311	11,108,288,626	11,305,664,072
次期繰越損益金	△ 3,375,798,114	△ 3,673,294,858	△ 4,355,508,812	△ 3,603,785,431	△ 4,340,498,996	△ 4,308,975,495
(D) 受益権総口数	12,138,990,333口	11,069,367,306口	11,156,607,623口	11,143,063,311口	11,108,288,626口	11,305,664,072口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,219円	6,682円	6,096円	6,766円	6,093円	6,189円

<注記事項>

(注1) 元本の状況

当作成期首元本額	12,753,040,822円
当作成期中追加設定元本額	2,121,813,665円
当作成期中一部解約元本額	3,569,190,415円

(注2) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,308,975,495円であります。

## ○損益の状況

項 目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
	2014年7月24日～ 2014年8月25日	2014年8月26日～ 2014年9月24日	2014年9月25日～ 2014年10月23日	2014年10月24日～ 2014年11月25日	2014年11月26日～ 2014年12月24日	2014年12月25日～ 2015年1月23日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	10,024,681	△ 493,975,597	△ 550,459,485	839,258,668	△ 623,882,908	211,684,921
売買益	33,978,959	20,726,041	7,255,568	857,604,866	17,262,092	217,413,240
売買損	△ 23,954,278	△ 514,701,638	△ 557,715,053	△ 18,346,198	△ 641,145,000	△ 5,728,319
(B) 信託報酬等	△ 15,472,795	△ 13,523,141	△ 11,208,615	△ 12,442,454	△ 10,895,648	△ 10,790,231
(C) 当期損益金(A+B)	△ 5,448,114	△ 507,498,738	△ 561,668,100	826,816,214	△ 634,778,556	200,894,690
(D) 前期繰越損益金	△1,086,227,467	△1,071,663,583	△1,599,645,741	△2,150,846,037	△1,277,153,027	△1,955,037,280
(E) 追加信託差損益金	△2,187,010,611	△2,005,577,599	△2,104,942,111	△2,190,611,102	△2,339,701,104	△2,464,387,593
(配当等相当額)	( 2,229,933,560)	( 2,035,176,181)	( 2,053,978,553)	( 2,048,664,271)	( 1,976,122,268)	( 1,983,788,752)
(売買損益相当額)	(△4,416,944,171)	(△4,040,753,780)	(△4,158,920,664)	(△4,239,275,373)	(△4,315,823,372)	(△4,448,176,345)
(F) 計(C+D+E)	△3,278,686,192	△3,584,739,920	△4,266,255,952	△3,514,640,925	△4,251,632,687	△4,218,530,183
(G) 収益分配金	△ 97,111,922	△ 88,554,938	△ 89,252,860	△ 89,144,506	△ 88,866,309	△ 90,445,312
次期繰越損益金(F+G)	△3,375,798,114	△3,673,294,858	△4,355,508,812	△3,603,785,431	△4,340,498,996	△4,308,975,495
追加信託差損益金	△2,187,010,611	△2,005,577,599	△2,108,916,117	△2,257,527,390	△2,368,677,235	△2,538,010,421
(配当等相当額)	( 2,230,089,207)	( 2,035,325,799)	( 2,051,156,859)	( 1,982,308,796)	( 1,949,153,541)	( 1,910,498,751)
(売買損益相当額)	(△4,417,099,818)	(△4,040,903,398)	(△4,160,072,976)	(△4,239,836,186)	(△4,317,830,776)	(△4,448,509,172)
分配準備積立金	152,537,716	53,685,112	-	-	-	-
繰越損益金	△1,341,325,219	△1,721,402,371	△2,246,592,695	△1,346,258,041	△1,971,821,761	△1,770,965,074

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

### <分配金の計算過程>

決 算 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期	第 48 期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	42,013,804	4,730,935	33,785,019	22,228,218	59,890,178	16,822,484
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	2,230,089,207	2,035,325,799	2,055,130,865	2,049,225,084	1,978,129,672	1,984,121,579
(D) 分配準備積立金	207,635,834	137,509,115	51,493,835	0	0	0
分配対象収益額(A+B+C+D)	2,479,738,845	2,177,565,849	2,140,409,719	2,071,453,302	2,038,019,850	2,000,944,063
(1万円当たり収益分配対象額)	( 2,042)	( 1,967)	( 1,918)	( 1,858)	( 1,834)	( 1,769)
収益分配金	97,111,922	88,554,938	89,252,860	89,144,506	88,866,309	90,445,312
(1万円当たり収益分配金)	( 80)	( 80)	( 80)	( 80)	( 80)	( 80)

## ○分配金のお知らせ

	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
1万円当たり分配金(税込み)	80円	80円	80円	80円	80円	80円

### ◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

### ◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

### ◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

### ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## <主な約款変更に関するお知らせ>

投資信託に関する法令・一般社団法人投資信託協会規則等の変更に従い、下記の約款変更を行いました。

- 運用報告書（投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書をいいます。）に記載すべき事項を電磁的方法により受益者に提供するための規定を新設しました。
- 重大な約款変更および繰上償還を行う際に行われる書面決議の手続きに関して、次の変更を行いました。
  - ・ファンドの併合について、受益者の利益に及ぼす影響が軽微であるときは、当該併合に関する書面決議を不要とする変更を行いました。
  - ・ファンドの併合および約款変更に関する書面決議に係る要件について、受益者数要件を廃止し、「受益者の半数以上であって、当該受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数」から「受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数」に変更を行いました。
  - ・書面決議において反対した受益者の受益権買取請求の規定の適用を除外する変更を行いました。
- デリバティブ取引等に係る投資制限に関し、合理的な方法により算出した額が純資産総額を超えることとなる投資を行わない旨の規定を新設しました。  
(変更日：2014年12月1日)

## LM・ブラジル高配当株マザーファンド

## 運用状況のご報告

第4期 決算日 2015年1月23日

(計算期間：2014年1月24日～2015年1月23日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」の第4期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 主としてブラジルの証券取引所に上場している株式を中心に投資を行います。</li> <li>2. 主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、銘柄の流動性に配慮しながらポートフォリオを構築します。</li> <li>3. 原則として外貨建て資産の為替ヘッジはしません。</li> </ol>
主 要 運 用 対 象	ブラジルの証券取引所に上場している株式を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		株組入比率	株式先物比率	純資産総額
	円	騰落率			
(設定日)					百万円
2011年1月24日	10,000	—	—	—	1,649
1期(2012年1月23日)	10,222	2.2	96.1	—	8,956
2期(2013年1月23日)	10,842	6.1	95.9	—	30,108
3期(2014年1月23日)	9,923	△8.5	95.4	—	27,699
4期(2015年1月23日)	10,580	6.6	93.9	—	23,659

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注3) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 市場に広く認知されているベンチマークで、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマークと比較しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株組入比率	株式先物比率
	円	騰落率		
(期首)				
2014年1月23日	9,923	—	95.4	—
1月末	9,262	△6.7	95.8	—
2月末	9,496	△4.3	95.0	—
3月末	10,228	3.1	96.9	—
4月末	10,439	5.2	94.7	—
5月末	10,691	7.7	95.9	—
6月末	11,081	11.7	95.1	—
7月末	11,323	14.1	97.0	—
8月末	11,784	18.8	96.7	—
9月末	10,566	6.5	92.9	—
10月末	10,577	6.6	93.5	—
11月末	11,337	14.2	94.3	—
12月末	10,319	4.0	95.5	—
(期末)				
2015年1月23日	10,580	6.6	93.9	—

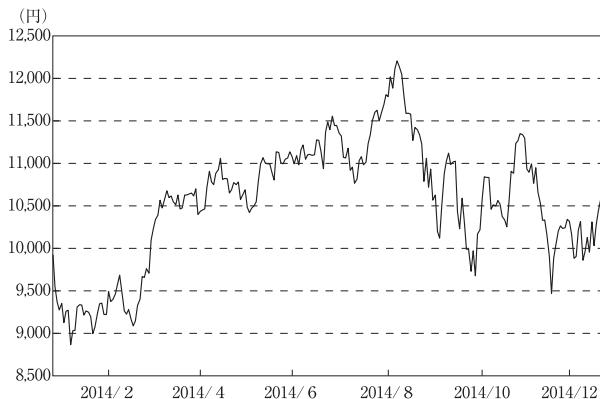
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 期中の基準価額の推移

(2014年1月24日～2015年1月23日)



### ○基準価額の変動要因

当期末（2015年1月23日）のLM・ブラジル高配当株マザーファンド（以下、当ファンド）の基準価額は10,580円となりました。当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス6.62%、基準価額は657円上昇しました。当ファンドの運用においては、高水準の配当利回りが期待できるブラジル株式へ投資を行いました。当期の基準価額変動は、株式要因がプラスとなったことに加え、ブラジルリアル高・円安を背景に為替要因もプラスとなったことから、プラスとなりました。

ブラジル株式市場はほぼ横ばいとなりました。

期の前半は、企業決算が好調だったことや、ルセフ大統領の支持率低下を受けて政権交代観測が浮上し、ブラジル経済活性化への期待が高まったことなどから、株式市場は上昇しました。

期の半ばは、引き続き10月の大統領選へ向けて政権交代観測と経済活性化への期待感から、株式市場は上値を試す展開となりました。しかし、イラクやウクライナ情勢の緊迫化や、足元の国内景気の脆弱さが意識されると、株価は下落に転じました。

期の後半は、大統領選でルセフ大統領が再選され政権交代は実現しなかったものの、新政権がより市場に配慮した政策を取り入れるとの期待感から、株価への影響は限定的となりました。その後、原油や鉄鉱石などの資源価格が下落し世界的にリスク回避の動きが強まったことや、ブラジル経済の先行き不透明感などから、株価は軟調な展開となりました。

為替市場は、ブラジルレアル高・円安となりました。

期の前半は、ブラジル中央銀行によるレアル買い介入や追加利上げを受け、レアル買い・円売り優勢となりました。さらに、政権交代観測が浮上し株式相場が上昇したことなどから、レアル買い・円売りが強まりました。

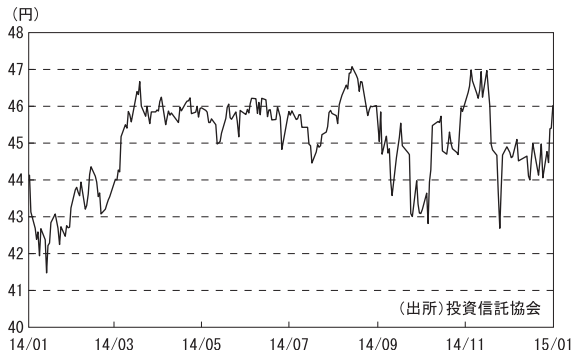
期の半ばは、ウクライナや中東を巡る緊張の高まりがレアルの上値を抑えました。その後、ブラジル中銀によるレアル買い介入の強化や、政権交代観測の高まりなどから、レアル買いが優勢となりました。

期の後半は、大統領選の行方に対する思惑などから、レアル・円相場は値動きの荒い展開となりましたが、大統領選後、ブラジル中銀による予想外の利上げや、日銀による予想外の追加金融緩和を受け、レアル買い・円売り優勢となりました。しかし、その後、原油価格等の下落を背景にリスク回避の動きが強まったことから、レアルは対円で下落しました。当期末にかけては、ブラジル中銀による追加利上げ等を受け、レアル買いが優勢となりました。

ブラジル・ボベスバ指数の推移



ブラジルレアル/円レートの推移





当ファンドは、主にブラジルの証券取引所に上場している株式に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めます。また、組み入れ外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当期においては、高水準の配当利回りが期待できるブラジル株式への投資を行いました。

### ○今後の運用方針

ブラジル経済については、2014年7－9月期GDP（国内総生産）成長率が前期比+0.1%となるなど、足元の経済成長ペースは鈍いものとなっています。ルセフ新政権は、インフレ抑制や財政再建を優先する姿勢を示しており、当面の国内景気の成長ペースは鈍いものと予想されます。しかし、一方では、金融・財政政策の協調性が増していることから、ルセフ政権への投資家の信認が回復する要因となると期待されます。

金融政策については、ブラジル中央銀行はインフレを抑制するため、2014年10月に利上げを再開し、12月、2015年1月の政策決定会合でも追加利上げを決定しました。今後については、インフレ抑制姿勢は変わらないものの、過去の利上げの影響などを考慮しながら、慎重に利上げ判断を行うものと思われれます。

為替市場については、ブラジル中央銀行がインフレ抑制を重視した政策を継続すると予想されることや、為替介入を継続する姿勢を示していることなどから、リアルは底堅く推移するものと予想されます。また、日本では日銀の積極的な金融緩和が継続されると見込まれ、リアルを対円で下支えする要因と考えられます。

株式市場については、原油等資源価格の下落や、引き締め型の金融・財政政策の影響などから、当面は上値の重い展開となる可能性があります。しかし、株価は株式相場にとっての悪材料を概ね織り込んだ水準にあると思われ、ルセフ政権への投資家の信認が回復するとともに、株式市場も次第に底堅く推移するものと予想されます。

## ○1万口当たりの費用明細

(2014年1月24日～2015年1月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 23 (23)	% 0.222 (0.222)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	20 (20)	0.190 (0.190)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	43	0.412	
期中の平均基準価額は、10,591円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注3) 保管費用には非居住者のブラジル国内株式投資に係る金融取引税が含まれます。

## ○売買及び取引の状況

(2014年1月24日～2015年1月23日)

### 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ブラジル	百株	千ブラジルリアル	百株	千ブラジルリアル
		261,536 ( 1,283)	469,465 ( 1,159)	316,729 ( 63)	556,496 ( 4,323)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注3) ( ) 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2014年1月24日～2015年1月23日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	46,671,237千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	21,486,838千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.17

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2014年1月24日～2015年1月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年1月23日現在)

外国株式

銘柄	株数	当期末			業種等	
		株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(ブラジル)	百株	百株	千ブラジルレアル	千円		
CIA DE GAS DE SAO PAULO-PR A	3,607	3,696	16,856	775,746	公益事業	
VALE SA-PREF	17,329	—	—	—	素材	
BANCO DO BRASIL SA	13,228	—	—	—	金融	
CIA DE TRANSMISSAO DE ENE-PF	10,685	3,684	14,260	656,283	公益事業	
AES TIETE SA-PREF	25,205	18,560	31,108	1,431,598	公益事業	
ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR	—	38,169	36,909	1,698,591	金融	
SOUZA CRUZ SA	7,927	10,811	23,449	1,079,150	生活必需品	
CCR SA	13,305	—	—	—	資本財・サービス	
CIA HERING	—	8,161	16,077	739,884	一般消費財・サービス	
CPFL ENERGIA SA	—	13,645	23,511	1,082,019	公益事業	
GRENDENE SA	10,234	—	—	—	一般消費財・サービス	
PORTO SEGURO SA	965	—	—	—	金融	
MAHLE-METAL LEVE SA	11,237	10,975	21,917	1,008,631	一般消費財・サービス	
CIA SANEAMENTO MINAS GERAIS	—	23	51	2,378	公益事業	
CIA ENERGETICA DE SP-PREF B	8,644	—	—	—	公益事業	
BR PROPERTIES SA	7,078	—	—	—	金融	
TRANSMISSORA ALIANCA DE-UNIT	18,036	7,925	15,589	717,428	公益事業	
CIA ENERGETICA MINAS GER-PRF	21,993	10,227	12,088	556,318	公益事業	
CIA ENERGETICA DO CEARA-PR A	3,228	—	—	—	公益事業	
TEGMA GESTAO LOGISTICA	570	8,402	12,486	574,620	資本財・サービス	
BANCO ABC BRASIL SA	21,475	23,955	27,621	1,271,126	金融	
BANCO ESTADO RIO GRANDE SUL	15,773	—	—	—	金融	
BRASIL BROKERS PARTICIPACOES	47,668	—	—	—	金融	
BM&FBOVESPA SA	23,983	22,291	22,113	1,017,670	金融	
MULTIPLUS SA	—	3,165	11,300	520,062	一般消費財・サービス	
TELEFONICA BRASIL S.A.	9,358	3,500	18,168	836,137	電気通信サービス	
CETIP SA-MERCADOS ORGANIZADO	—	8,372	28,975	1,333,461	金融	
ECORODOVIAS INFRA E LOG SA	—	31,494	35,430	1,630,528	資本財・サービス	
CIELO SA	0.06	—	—	—	情報技術	
TELEFONICA BRASIL S.A.	1,169	—	—	—	電気通信サービス	
CONTAX PARTICIPACOES-UNIT	6,201	9,638	10,149	467,077	資本財・サービス	
ALUPAR INVESTIMENTO SA-UNIT	16,513	14,301	25,471	1,172,193	公益事業	
SMILES SA	5,161	4,402	21,133	972,549	一般消費財・サービス	
BB SEGURIDADE PARTICIPACOES	—	11,226	34,071	1,567,953	金融	
AMBEV SA	13,873	13,759	23,693	1,090,361	生活必需品	
BANCO ABC BRASIL SA-RTS	566	—	—	—	金融	
BANCO ABC BRASIL SA RTS	—	662	82	3,808	金融	
合計	株数・金額	335,027	281,054	482,520	22,205,584	
	銘柄数<比率>	28	24	—	<93.9%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄のく>内は、純資産総額に対する株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2015年1月23日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	22,205,584	93.8
コール・ローン等、その他	1,461,758	6.2
投資信託財産総額	23,667,342	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(23,034,166千円)の投資信託財産総額(23,667,342千円)に対する比率は97.3%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、1月23日における邦貨換算レートは1ブラジルレアル=46.02円です。

## ○特定資産の価格等の調査

(2014年1月24日～2015年1月23日)

該当事項はございません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年1月23日現在)

## ○損益の状況 (2014年1月24日～2015年1月23日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	23,667,342,269
コール・ローン等	1,390,943,239
株式(評価額)	22,205,584,037
未収配当金	70,814,820
未収利息	173
(B) 負債	8,183,210
未払解約金	8,183,210
(C) 純資産総額(A-B)	23,659,159,059
元本	22,361,383,755
次期繰越損益金	1,297,775,304
(D) 受益権総口数	22,361,383,755口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,580円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,060,551,463
受取配当金	2,060,473,483
受取利息	77,980
(B) 有価証券売買損益	△ 126,195,259
売買益	3,521,069,478
売買損	△3,647,264,737
(C) 保管費用等	△ 43,228,832
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,891,127,372
(E) 前期繰越損益金	△ 213,695,334
(F) 追加信託差損益金	654,222,040
(G) 解約差損益金	△1,033,878,774
(H) 計(D+E+F+G)	1,297,775,304
次期繰越損益金(H)	1,297,775,304

<注記事項>

(注1) 元本の状況

期首元本額 27,913,069,224円

期中追加設定元本額 11,357,434,993円

期中一部解約元本額 16,909,120,462円

(注2) 期末における元本の内訳

LM・ブラジル高配当株ファンド(毎月分配型) 6,708,812,968円

LM・ブラジル高配当株ファンド(適格機関投資家専用) 15,652,570,787円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ＜主な約款変更に関するお知らせ＞

投資信託に関する法令・一般社団法人投資信託協会規則等の変更に従い、下記の約款変更を行いました。

- 重大な約款変更および繰上償還を行う際に行われる書面決議の手続きに関して、次の変更を行いました。
  - ・ ファンドの併合について、受益者の利益に及ぼす影響が軽微であるときは、当該併合に関する書面決議を不要とする変更を行いました。
  - ・ ファンドの併合および約款変更に関する書面決議に係る要件について、受益者数要件を廃止し、「受益者の半数以上であって、当該受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数」から「受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数」に変更を行いました。
  - ・ 書面決議において反対した受益者の受益権買取請求の規定の適用を除外する変更を行いました。
- デリバティブ取引等に係る投資制限に関し、合理的な方法により算出した額が純資産総額を超えることとなる投資を行わない旨の規定を新設しました。  
(変更日：2014年12月1日)